

事業概要	国内・国外建設工事、海洋開発、地域・都市開発、環境整備・保全およびその他建設に関する事業、建設コンサルティング、マネジメント事業、不動産事業	
部署	経営企画部	
所在地	〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-23-18	
連絡先	(電話番号)03-3492-0308 (E-mail)nagasako@wakachiku.co.jp	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	地球温暖化等により生活の持続性が不安視される現在、当社もSDGsの理念に賛同し、「だれもが安心して暮らせる社会」、かつ「将来もその持続性が担保される社会」を実現したいと考えています。	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	脱炭素／防災
	(1) 再生可能エネルギー発電施設の建設 風力発電、メガソーラー、バイオマス、小水力と幅広く再生可能エネルギー施設の建設に実績を有しております。 (SDGsのKPIとして、携わった再エネ発電施設の年間発電量総計100億kWhを2030年までの目標に掲げており、現在、30億kWhまで到達しています。)	
	(2) ブルーカーボンなど海洋環境保全への取組 当社の強みである海洋建設事業を通じて、ブルーカーボンなど海洋環境に関わるお手伝いも可能です。	
(3) 防災減災機能の強化 国土強靱化に関わる事業や災害発生時の復旧復興事業にも広く従事しており、安全かつ持続性のある地域循環共生圏の実現に貢献できると考えています。		
URL	https://www.wakachiku.co.jp/csr/sdgs_7.html https://www.wakachiku.co.jp/csr/sdgs_11.html	
上記ソリューションを提供できる地域について	全国	

自者の特徴

当社は、明治23年、北九州の若松にて物流機能を拡充するため近代港湾を整備し、運営する目的で設立されました。資金の多くは民間から調達しており、今で言うPFI事業形式で地域の発展に貢献してまいりました。昭和13年に若松港の運営を福岡県に移管した後は、築港事業で培った海洋土木技術をもとに、日本各地でインフラ整備を中心とした事業を展開し、昨年130周年を迎えております。

この間、産業基盤の整備や地域の防災機能の向上を主な事業としており、「内外一致同心協力」という企業理念のもと、公益に資することを第一として、社業を営んできました。現在は、得意とする海洋土木に加え、陸上における交通インフラ整備や建築事業、再生可能エネルギー発電施設の建設等も事業の柱になっています。

<若築建設公式ホームページ>



SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

建設業は、基本的に地域密着型の産業であり、工事に使用する材料や機械はほとんど現地調達となります。その中で大幅な温室効果ガス排出削減をどう実現していくのが課題です。

当社の概要



商号	若築建設株式会社 (WAKACHIKU CONSTRUCTION CO.,LTD.)
東京本社	東京都目黒区下目黒二丁目23番18号
本店	北九州市若松区浜町一丁目4番7号
創立	1890年(明治23年)5月23日
代表者	代表取締役社長 烏田 克彦
売上高	連結：898億円 単体：870億円(ともに2021年3月期)
従業員数	連結：816名 単体：730名(ともに2021年3月31日現在)
資本金	113億7千4百万円
株式上場	東京証券取引所市場第一部【証券コード 1888】
事業内容	国内・国外建設工事、海洋開発、地域・都市開発、環境整備・保全およびその他建設に関する事業、建設コンサルティング、マネジメント事業、不動産事業
連結子会社	3社：新総建設株式会社、大丸防音株式会社、株式会社都市空間



◀東京本社



▼本店